

ビルトインIHコンロ

型式

DR08SAR

DR08SBR

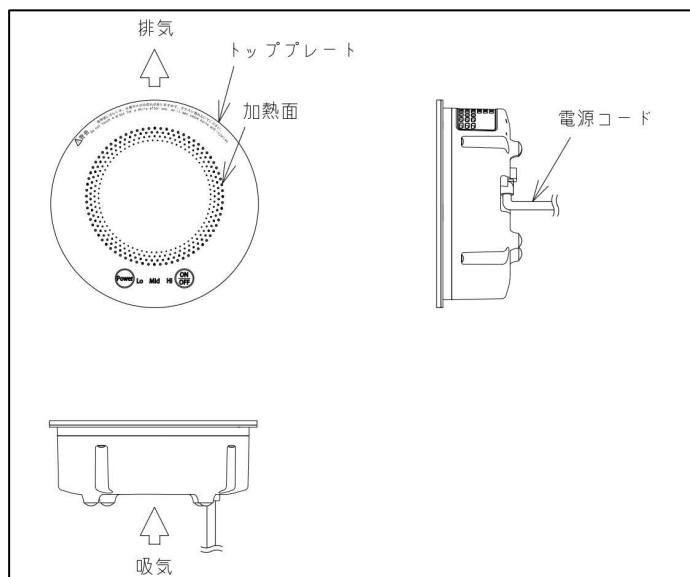


※写真は、DR08SAR です。

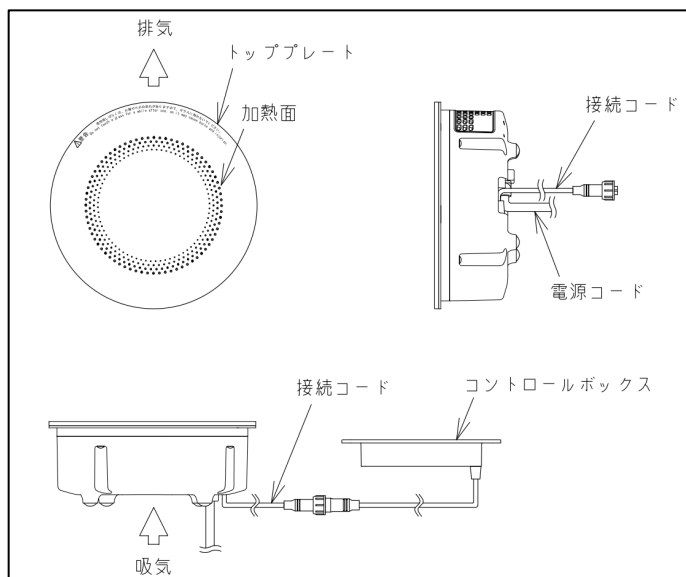
設置される方へ

- 設置前に設置説明書と製品に附属されている取扱説明書をよく読み、正しく設置してください。
- このIHコンロを設置する際は、必ず吸排気ができるように設置してください。
- キッチンユニットなどのような閉塞した架台や、吸排気が十分に取れない場所には設置しないでください。電磁調理器内の温度が異常に上がり、故障の原因となります。
- 設置後は、必ず試運転を行い、器具が正常に作動していることを確認してください。
- 取扱説明書、設置説明書に従っていない設置を行った際の故障・事故などについては責任を負いかねます。

●製品各部の名称

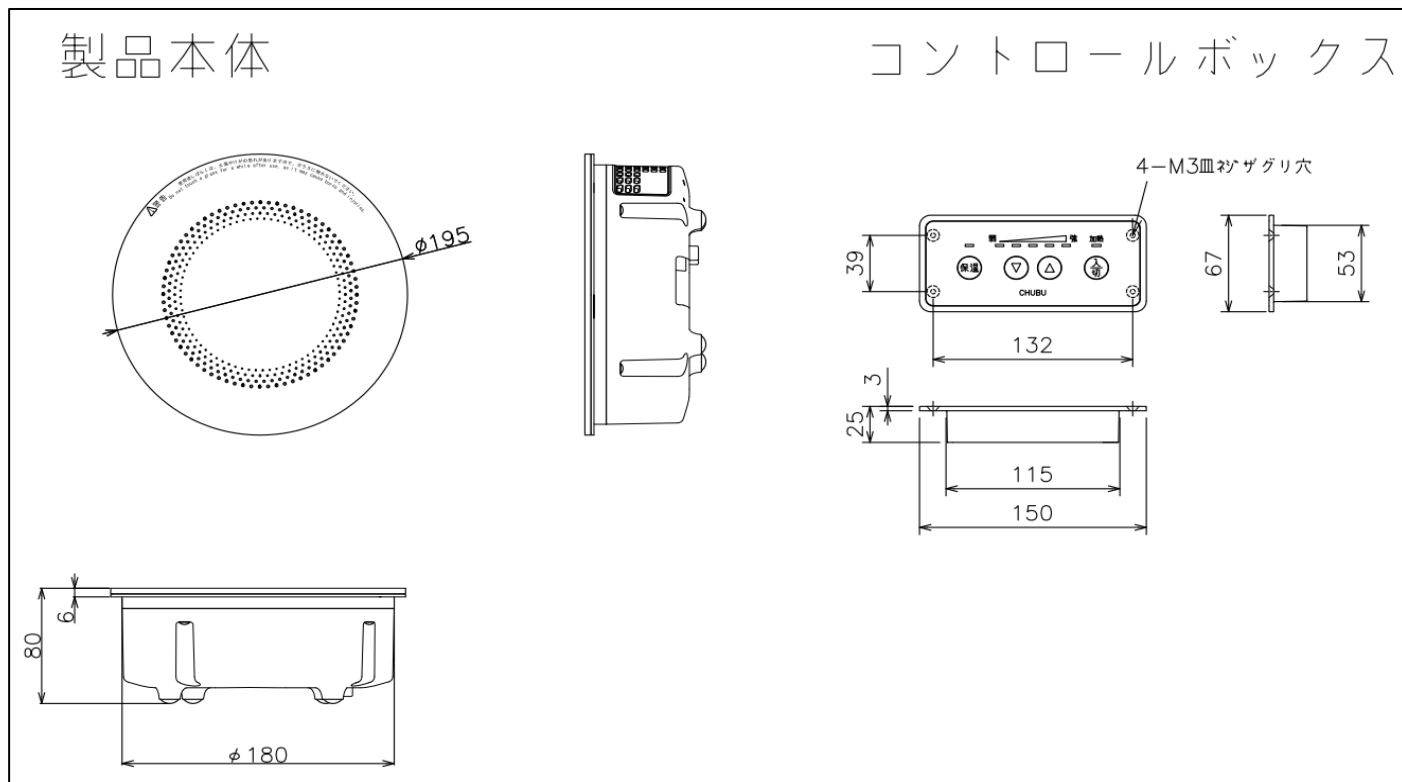


型式：DR08SAR

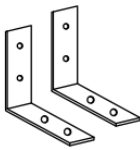
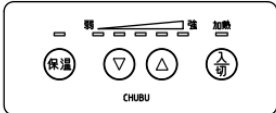


型式：DR08SBR

●寸法図(下図はDR08SBRですが、製品本体の寸法は同じです。)



●付属品 (DR08SBR のみ)

皿ねじ (4本)	皿タッピングねじ (4本)	トラスタッピングねじ (4本)	取付ブラケット (2個)	タッチパネルシート (1枚)
				

電気工事

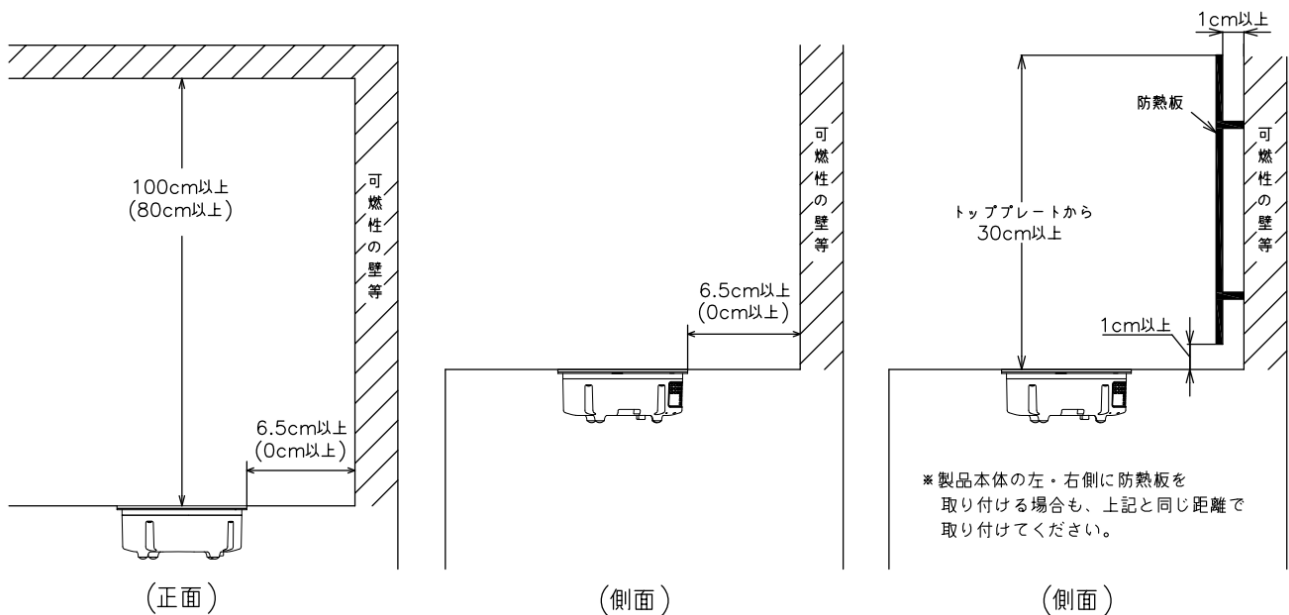
- 電気工事を行う方は、必ず電気工事士の免許を取得している方が行ってください。
- お客様ご自身では、絶対に据え付け工事をしないでください。
- 安全のために、漏電遮断器を設置してください。
定格電圧200V、定格10A、感度電流30mA、動作時間0.1秒以内のものを使用してください。
- 接地はD種接地工事を施工してください。電源は、単相3線式200Vであること。
- コンセントは、お客様が電源プラグを抜き差しできる場所に設置してください。

据え付け場所

- 設置は、火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従い設置してください。
- 確実に吸気と排気ができる場所に設置してください。
- 吸気温度が、常時35℃未満の場所に設置してください。
- 製品本体が高温・多湿の空気にさらされない場所に設置してください。
- 製品本体に水がかからない場所に設置してください。

注意

- ※トッププレートの周囲と可燃性の壁等の距離は、6.5cm以上離れていること。
(不燃性の壁又は、防熱板を取付けた場合は、0cm以上離れていること。)
- ※トッププレートの表面と可燃性の壁等の距離は、100cm以上離れていること。
(不燃性の壁又は、防熱板を取付けた場合は、80cm以上離れていること。)
- ※防熱板を取付ける場合、可燃性の壁等の表面と、防熱板の間に1cm以上の通気させる隙間をあけること。
またこの時、可燃性の壁等の表面温度が100℃を超えないこと。(室温35℃の時)
- ※製品本体の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属(メタルラス・金属板など)などと接触する場合は、電気的に接続しないよう設置すること。
又は、製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属(メタルラス・金属板など)などと接触しないように設置すること。(電気設備の技術基準の解説第145条を参照してください。)



周囲が可燃性の壁の場合
〔 () 内の距離は、周囲が不燃性の壁又は、右図の場合〕

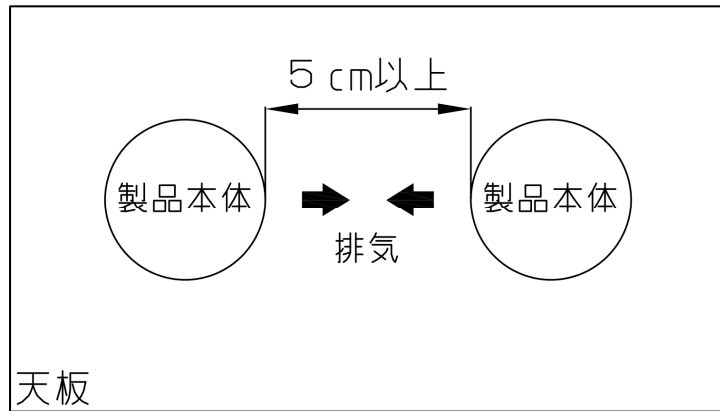
周囲が可燃性の壁であり
防熱板を取付ける場合

設置位置

※吸気の温度は、常時35℃未満にしてください。

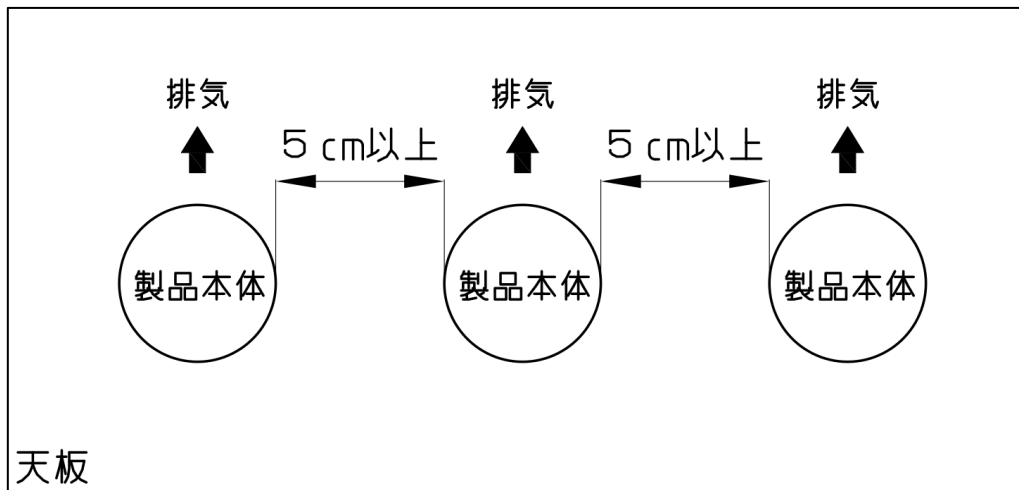
●製品本体を縦方向に並べて設置する場合。

- ・排気口を向かい合わせる場合は、トッププレートとトッププレートの間を5 cm以上離して設置してください。



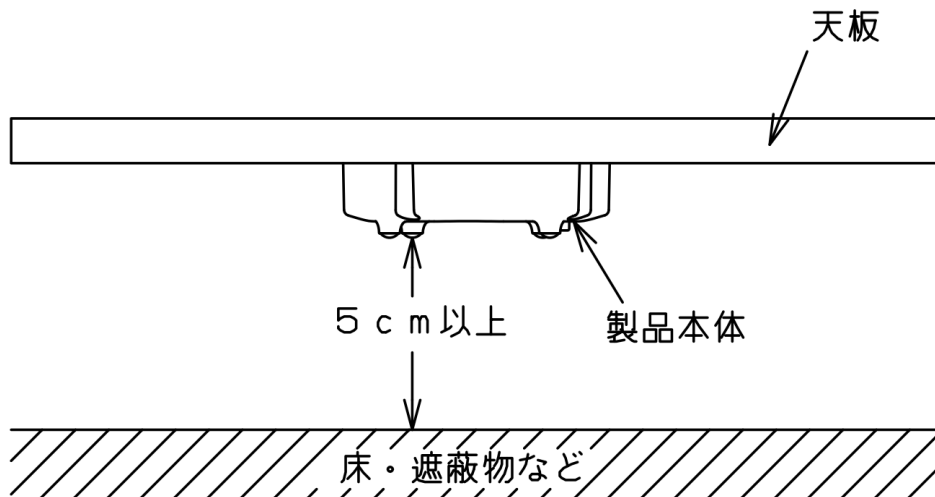
●製品本体を横方向に並べて設置する場合。

- ・排気口の向きが同じ方向を向くように設置してください。



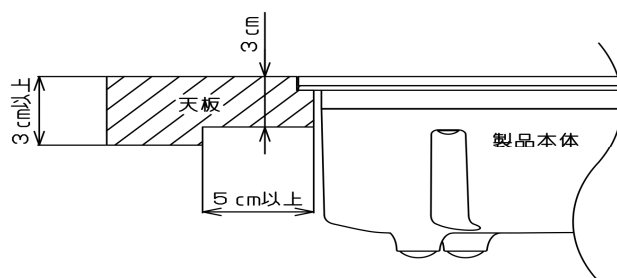
●製品本体下部から床・遮蔽物の距離

- ・製品本体の下部から床や遮蔽物の距離は5 cm以上あげてください。



天板について

- 天板には製品本体の質量・鍋・調理物の重さが加わります。その重さに十分耐えられる強度の天板をお使いください。
- 天板の板厚が3 cm以上の場合は、排気の妨げにならないように、製品本体据付穴の周囲5 cmを天板板厚3 cmに削ってください。(下図参照)



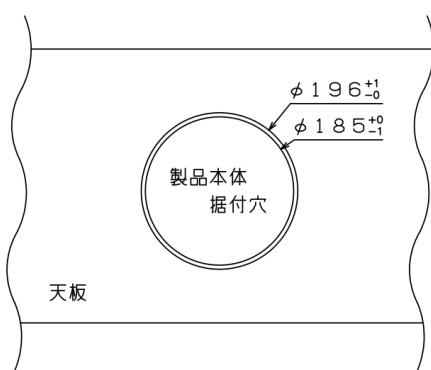
設置手順

注意

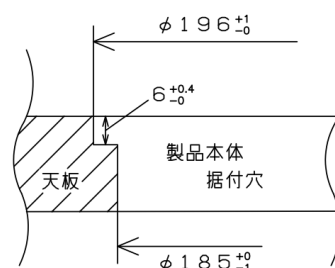
※設置作業時は、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

① 製品本体の据え付け

- ① 天板に製品本体据付穴をあけてください。



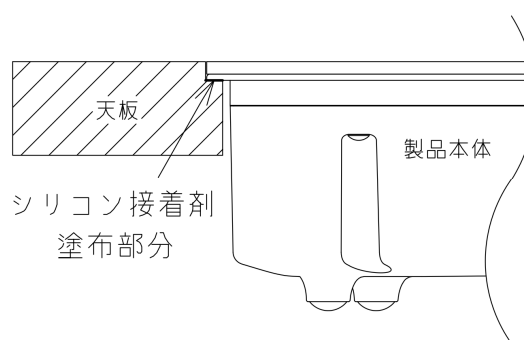
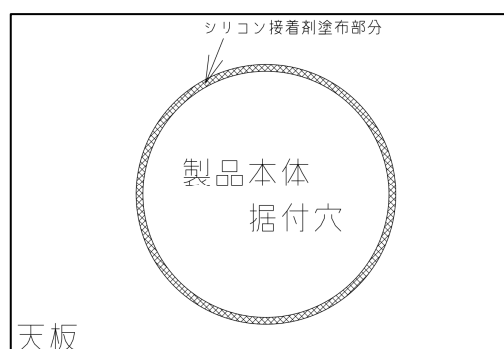
上から見た図



断面図

- ② トッププレートが天板と接触する部分に、シリコン接着剤を塗布してください。

※天板表面にシリコン接着剤がはみ出した場合は、ゆっくりときれいに拭き取ってください。



- ③ 一昼夜天板、製品を水平に放置してシリコン接着剤を硬化させてください。

注意

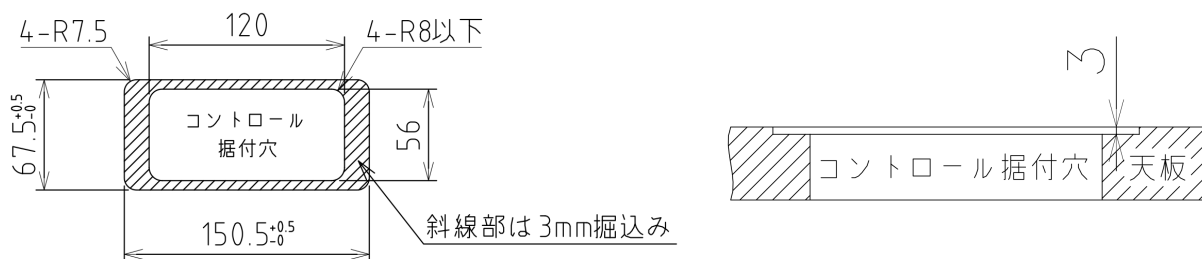
※シリコン接着剤が硬化する前に動かすと隙間ができ、水などが製品本体の中に入って、感電や故障の原因となります。

※シリコン接着剤に異物（ゴミやホコリなど）が付着しないようにしてください。

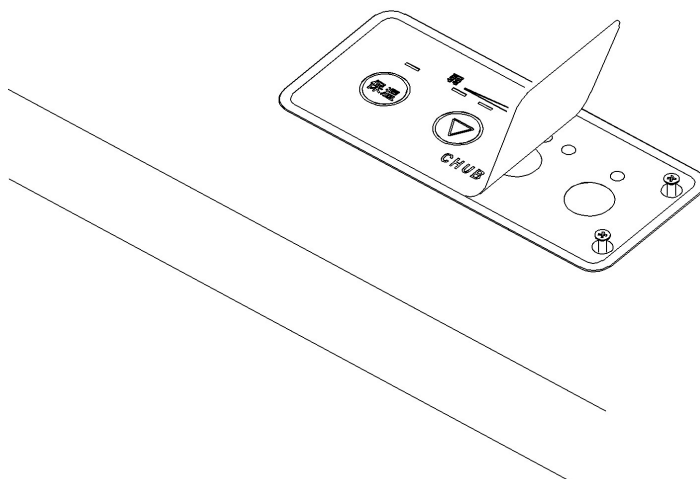
② コントローラの取り付け (DR08SBR のみ)

① コントローラを天板の表面に取り付ける場合。

- 天板にコントローラを取付ける穴を開けてください。

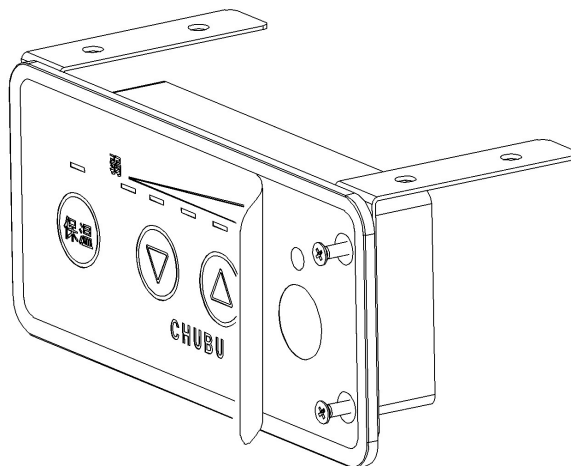


- 付属のコントローラ固定用皿タッピングねじで天板に固定してから、付属のタッチパネルシートを貼ってください。

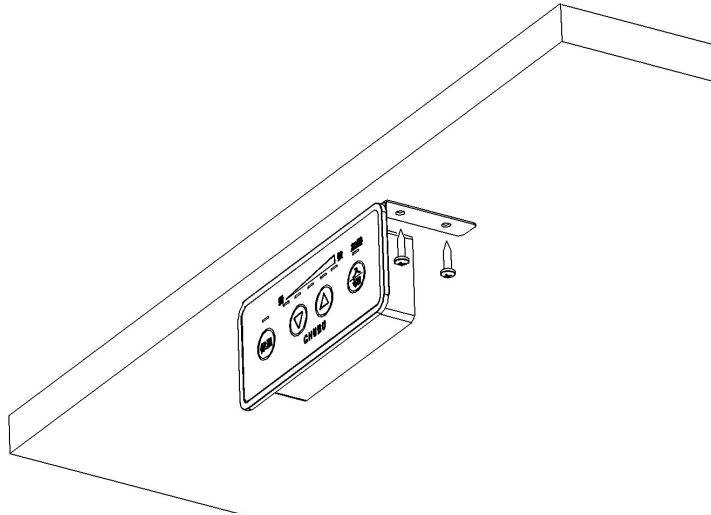


② コントローラを天板の下部に取り付ける場合。

- 付属のコントローラ取付ねじ (皿ねじ) で取付ブラケットと、コントローラを取付けてから、付属のタッチパネルシートを貼ってください。



- 取付位置を決めて、付属の取付ブラケット固定用ねじ（トラスタッピングねじ）で天板の下に取付けてください。



③ 製品本体とコントローラを接続してください。

④ 配線処理をしてください。

- 配線はコード押さえなどでしっかりと固定してください。
- コントローラ近傍に、コードを固定するコード押さえを必ず取り付けてください。

⑤ 電源を接続してください。

- 電源プラグを専用のコンセントに差し込んでください。

⑥ 工事終了後の確認

- 設置工事が終了したら、下記のチェックを行ってください。

付属品の取付け

チェック

コントローラを天板の表面に据付ける場合	
コントローラ固定用皿タッピングねじ	

コントローラを天板の下部に据付ける場合	
コントローラ取付ブラケット	
コントローラ取付ブラケット固定用ねじ (トラスタッピングねじ)	
コントローラ固定用皿ねじ	

外観

トッププレートは汚れていませんか？	
-------------------	--

電源・動作

電源は200Vですか？	
コンセントは、電源プラグが容易に抜き差しができる位置にありますか？	
水を入れたIHコンロ用鍋をトッププレートの中心にのせ、 ON/OFF(入/切)ボタンを押してください。 (IHコンロで加熱できる鍋を使用してください。) ⇒ ランプが点灯し、加熱を始めましたか？	
それぞれのキーを押してください。 ⇒ 正常に動作していますか？	

- 確認が完了した後は、必ず ON/OFF(入/切)ボタンを押して加熱ランプが消灯していることを確認した後、電源プラグを抜いてください。
- コンセントがどの位置にあるか、お客様に説明してください。